

# 公労使による「新しい東京」実現会議

日時：令和4年1月24日（月）

場所：第一本庁舎 7階 大会議室

【村西部長】 それでは、ただいまより公労使による「新しい東京」実現会議を開会いたします。

本日は、ご多忙にもかかわらず、テレビ会議にてご参加をいただききまして、ありがとうございます。

会議の進行は事務局で務めさせていただきます。

なお、ご出席者の皆様のご紹介につきましては、お手元の出席者一覧をご確認いただくことで代えさせていただきます。

それでは、まず、小池知事からご挨拶と本日のテーマに関する都の取組について申し上げます。

知事、よろしく申し上げます。

【小池知事】 皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、公労使会議、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、平素より様々な分野での活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、コロナです。それぞれの皆様、コロナ対策、これまでも大変ご協力を賜ってまいりました。皆様が様々な面でリーダーシップを発揮されているということ、大変心強く思いますし、敬意を表したく存じます。

さて、オミクロン株ですけれども、もう急拡大を続けているのはご存じのとおりでございます。そして、この状況の中から、21日からでございますが、来月2月13日までですが、東京都としまして、まん延防止等重点措置期間となったわけでございます。

これまでと様相が違う点もありますけれども、ただ、感染者が非常に広がりが多く、また、このまま拡大を続けるようですと、そもそも社会活動の基盤が大きく揺らぐ事態という状況になっているわけで、これを何とか回避していかなければならない。「感染を止める。社会は止めない」ということで、この極めて難しいミッションではありますけれども、それを成し遂げるために公労使が一致協力して取り組んでいく必要があるということで、今日、このような会議を持たせていただいているわけです。

大切なポイントは3つあると考えておまして、申し上げますと、まずBCPの取組、それからテレワークの一層の普及、そして働き方改革を通じた人流の抑制ということになります。

まず、BCPについてなんですが、例えばイギリスでは、清掃職員の多くが感染してごみの山ができてしまったとか、アメリカでは、パイロットやキャビンアテンダントが確保できないで飛行機が欠航するとか、そういった事態が報道されているわけでありまして。社会活動を維持するために、感染症に対応したBCPの点検・策定を進めて、職場を挙げた事業継続の取組を推進していく必要があるので、ご協力いただきたい。

また、東京都は、そのためのチェックリストを活用してBCPを点検してもらったり、策定のサポートをいたしてまいります。そして、BCPの優れた事例を発信して行って、あ、なるほど、こうすればいいんだというのが分かりやすく分かるようにお伝え、サポートしてまいります。また、職場や家庭での感染を防ぐために、社員の方がホテルでテレワークが続けられる、そして宿泊ができるという取組を支援いたします。それから、食品スーパーなどのエッセンシャルワーカーの皆さんですが、その方々の欠勤が相次いだりして、なかなかお店を続けるのが難しいなどという場合は、感染や濃厚接触で従業員の欠員の代替人材、この確保に向けて、感染や濃厚接触で従業員の欠員が生じた場合の代替人材の確保に対して緊急の支援策も用意をしたところでございます。これがBCPに関連して都としてこれからサポートしていくところをまとめて申し上げました。

それから、テレワークですけれども、テレワークは、感染防止と事業活動の両立に向けて極めて有効なツールだということは、ずっともう既に行っていたいただいている皆さんは、その有効性と、一方で、なかなか会えなくて寂しいとか、なかなかコミュニケーションが難しいとか、いろんなプラスマイナスがあるかと思っておりますけれども、ただ、今この時点で一層の活用が求められているのがテレワークかと存じます。

前回の公労使会議を開かせていただいて、そのときに皆様のご協力を得て「テレワーク東京ルール」を取りまとめたわけですが、その中で、「我が社のテレワークルール」を制定して宣言していただいた企業がございまして、その数、7,500社に達したんです。それで、先日、新たに開始をいたしました。

た「テレワーク推進リーダー」制度、これは各社に、それぞれの部署でも、また各社1人でも、それぞれリーダーを決めていただくということ。テレワーク推進強化の奨励金も提供するなど、東京都としてここは様々な支援策をご用意しておりますので、ぜひご活用いただいて、テレワークを定着させていきたいと考えております。

3つ目、最後ですけれども、働き方改革を通じた人流抑制ということで、いろいろと言葉をめぐって様々な議論もございますけれども、コロナ禍の中で多くの従業員の方々が働き方の変化を実感している今、テレワークの導入やウェブ会議の活用や時差出勤の導入、また営業時間の見直しといった取組も着実にこれまでも進んできました。

働き方改革もずっと長年言われてまいりましたけれども、まさに今、働き方を変えざるを得ない、また変えていかなければならないという中において、働き方の変革は、すなわち生産性を向上させ、またライフ・ワーク・バランスの実現につながっていく。また、それが感染症としてのポイントとして、人と人との接触をいかにして抑えていくかにもつながっていく。東京都といたしましても、こうした取組を後押しすべく、相談窓口の設置、また専門家の派遣などの支援も実施をいたしてまいります。

今日は、今、3つのことを申し上げましたけれども、一気に申し上げましたけれども、これらのテーマで皆様と意見交換をしたいと考えております。職場を挙げて、今、本当に厳しい難局でございますが、それを乗り越えていく。そして、緊急共同宣言、最後、取りまとめて発信をしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私からの発言、以上でございます。

**【村西部長】** ありがとうございます。

続きまして、今回のテーマに関連した取組やご意見などにつきまして、各団体の皆様からご発言をいただきたいと存じます。

初めに、東京商工会議所、三村会頭、よろしくお願いします。

**【三村会頭】** 東京商工会議所の三村でございます。

社会活動継続のためにBCPの再点検、あるいはテレワークの推進について、先日も知事からご要望ございましたけれども、再度、会員企業に対して幅広く周知を図りたいと思っております。また、働き方改革、人流抑制、これも含めて、本日の会議によって公労使による認識の共有を図り、改めて感染防止と社会経済活動のより高い次元での両立を図るべく、取り組んでまいりたいと存じます。

企業のBCPの策定の状況につきましては、昨年3月から4月に実施した調査では、31.8%ぐらいが策定しているということです。ただ、企業規模が小さくなるほど策定率は低くなっております。オミクロン株の感染拡大下で中小企業の事業継続のためには、BCPの整備、これが極めて重要であり、知事のご指摘のとおりだと思います。したがって、優先業務の洗い出し、あるいは応援要員の手配方法なども検討するよう、改めて周知いたしております。また、東商で、これまでも東京都、東京都医師会と連携いたしまして、「感染症対応力向上プロジェクト」により、従業員向けの研修、BCPのひな形提供などを通じて、企業におけるBCP策定を支援してまいりましたけれども、引き続き会員企業の支援にも取り組んでまいりたいと存じます。

また、テレワークについては、昨年11月に実施した調査では、現在も実施している企業の割合は31.2%にとどまっており、こちらも企業規模が小さくなるほど実施率は低下しているのが事実であります。ただ、テレワークを実施している企業は、働き方改革の進展、あるいは業務プロセスの見直しなどの点で効果を感じているとの調査結果も出ております。感染症のBCPの観点のみならず、働き方改革推進の面からもさらなる実施を呼びかけてまいりたいと思います。

コロナ対策で知事にお願ひがあります。それは、基礎的な感染対策の下、経済を動かしていくためには、第三者認証とワクチン・検査パッケージ、これは極めて有効な制度なので、オミクロンの特性に即した形で進化させ、ぜひともうまく活用していただきたいと思ひます。そのためには、検査アクセスの向上が必要であり、先日、東京都に対して、東商と東京都医師会から無料検査場など検査体制の拡充をお願ひしていますので、改めてご協力のほどよろしくお願ひいたします。

また、中小企業の状況は明らかにK字型回復の状況が続いている中で、このたびのまん延防止等重点措置が発出され、飲食、宿泊、行動抑制を受ける業種については、さらに厳しい影響が出ます。引

き続きこうした中小企業の支援に万全を期していただきますよう、併せてお願いいたします。

私からは以上であります。ありがとうございました。

【村西部長】 ありがとうございます。

続きまして、東京都商工会連合会、山下会長、よろしく申し上げます。

【山下会長】 山下でございます。小池都知事をはじめ東京都の皆様が様々なコロナ対策を強力に推進されておられますことに、まず敬意を表するとともに御礼を申し上げます。

2年を超えるコロナとの闘いの影響は大きく、中小・小規模企業や地域の産業がこれまでになかった形で傷ついております。こうしたときだからこそ、オミクロン株による爆発的な感染拡大を受け、知事がお話しの「感染を止める。社会は止めない」に取り組んで、実現していくことが重要と考えております。

多摩・島しょ地域におきましては、地域の人々の生活を支える商品やサービス等を提供する役割も中小・小規模企業が担っております。その活動を継続していくために、私ども商工会が積極的に支援してまいります。しかし、コロナ禍を契機に、中小・小規模企業でもBCPづくりやテレワークの実施が進んでいるものの、まだまだの状況であります。

感染を止めるには、人と人との接触、その頻度を減らすことが必要です。一方、社会を止めないためには、人の活動を継続していくことが必要であります。2つのことを同時に実現するために、それぞれの局面で感染や、事業継続を阻むリスクをどのように軽減するかがポイントとなります。特に、中小・小規模企業を対象として2つのリスク回避を進めていくには、地域の実情と企業活動の現場に即して支援をしていくことが肝要と思っております。

東京都商工会連合会は、東京都並びに本日ご出席の皆様と協力・連携し、BCPの策定、テレワークの一層の普及など、感染の拡大防止と企業活動の両立に向けた多様な取組を積極的に進めてまいります。こうした取組を進めて、多摩・島しょ地域の感染の拡大防止と企業の事業継続活動を推進してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

以上でございます。

【村西部長】 ありがとうございます。

続きまして、東京都中小企業団体中央会、大村会長、よろしく申し上げます。

【大村会長】 東京都中小企業団体中央会の大村です。よろしくお願いいたします。

まずは、東京都のコロナ感染症に係る各種支援策の実施に対しまして、改めて御礼を申し上げます。また、まん延防止等重点措置が適用されたこのタイミングで、公労使が社会経済活動の継続について緊急共同宣言を広く発信することは、非常に意義深いことであると思えます。

私自身も、今年に入ってからオミクロン株による感染者数の急増、そして社会活動の基盤が揺らぎかねない事態が危惧されることに、これまでとは違い、強い緊張感を持っております。

1つ目のポイントであるBCP（事業継続計画）についてですが、まさにその重要性が日一日と高まっております。中央会では、これまでも会員組合及びその傘下の事業者に対して都の各種支援策の普及啓発に努めるとともに、補助を頂き、会員組合に対し実際にBCP策定の支援を行いました。策定自体は、専門家の支援もあり、それほど困難ではありませんが、人材に乏しい中小企業、小規模事業者にとっては、踏み出すまでが一苦労というのが実態ということであろうと思えます。そういった意味では、経営者の意識を変えていくことが一層普及を図る上で重要であると考えます。中央会では、今月12日に知事からのご要請を受け、会員等に対してチェックリストに基づいた再点検を促しております。また、感染症に対応するBCPを策定していない会員等に対しましても、引き続き都の支援策の周知などに努めてまいります。

次に、テレワークについてです。知事のお話にもありましたが、感染防止と事業活動の両立を図るためには極めて有効なツールであります。中小企業の場合、経営資源の問題や業務の親和性という課題がありますが、都が様々な補助事業や支援の仕組みを用意していただいておりますので、改めて会員等への一層の普及のために努めていきたいと思えます。

次に、働き方改革を通じた人流抑制についてです。働き方改革は、生産性向上やライフ・ワーク・

バランスの実現ということで、コロナ禍以前から課題でありました。このコロナ禍をある意味の好機と前向きに捉え、従業員の安全・安心のためにも、人流抑制について、会員等への普及啓発に努めてまいります。

最後になりますが、先ほどご説明がありました中小の食品スーパー等への人材面での支援は、事業者側にとっても大変ありがたいサポートです。どうか実施に際しましては、我々も努めますが、対象の事業者十分に伝わるよう広報をお願いいたします。

私からは以上です。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

**【村西部長】** ありがとうございました。

続きまして、東京経営者協会、川本専務理事、よろしくお願いいたします。

**【川本専務理事】** 東京経営者協会、専務理事の川本でございます。本日は所用により富田会長の出席ができませんでしたので、私が代理で発言をさせていただきます。

初めに、コロナ禍におけるBCP（事業継続計画）の取組についてでございます。当会では、従来から、企業防災・事業継続連絡会を設置しまして、企業の事業継続の在り方や最新動向の研究を行ってまいりました。コロナ禍の対応をテーマとした活動も継続して行っており、2020年11月にはコロナ禍における対応と事業継続の課題、2021年9月には新型コロナウイルスの影響を踏まえたBCPの見直しをテーマとして、企業事例の研究や会員相互の情報交換に努めてきたところでございます。連絡会を構成する会員企業からは、これまでの経験や新型コロナウイルスの特殊性を踏まえたBCPの策定や必要な見直しを行ってきたという声が寄せられております。感染拡大防止と経済活動の両立にとって不可欠なBCPの取組の強化に向けては、各社の実情に応じた迅速な対応を会員企業に呼びかけていきたいと考えております。

次に、テレワークについて申し上げます。テレワークの普及促進に向け、東京都がこれまで様々な支援策を講じていただいていることに、まずは感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。これほど急速に感染が拡大している状況では、感染リスクは職場や会食の場だけには限られません。人流を抑制し、不特定多数の人との接触機会を低減できるテレワークの取組を強化することは、感染防止と企業活動の両立に極めて高い効果があると認識しております。一方で、経済活動維持の観点からは、エッセンシャルワーカーをはじめ、テレワークに向かない職業や職場で働く方々への配慮が必要となります。この2年間で企業が自社の実情に合った新型コロナウイルスとの付き合い方を習得してまいりました。テレワークの一層の普及に当たっては、一律の数値目標などはあくまでも目安とし、現場の労使の自主性を最大限尊重していくことが望ましいと考えております。

前回の公労使会議でも富田会長が申し上げたとおり、テレワークを生産性の高い働き方として定着させるには、個々の企業の努力だけではなく、社会全体の仕組みを変えていくことが必要となります。東京都には、行政のデジタルトランスフォーメーションと言えるデジタルガバメントの実現の先頭に立って、さらなる取組強化をお願いしたいと存じます。当会としても、テレワークの一層の普及に向け、会員企業への周知啓発や支援に努めていきたいと思っております。

最後に、働き方改革について申し上げます。テレワークに加えて様々な働き方改革の定着を図ることは、人流抑制に資するだけでなく、ウィズコロナ、ポストコロナ時代における新たな価値創造や生産性向上を目指す観点からも大変重要です。当会は、これまで企業事例の周知など参考となる情報提供を中心に活動を展開してきたところでございますが、働き方改革に終わりはありません。新型コロナウイルスがもたらした働き方改革の流れを一層高めていくため、周知啓発活動などをさらに強化してまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

**【村西部長】** ありがとうございました。

続きまして、連合東京、杉浦会長、よろしくお願いいたします。

**【杉浦会長】** 連合東京の杉浦でございます。日頃より、東京都をはじめ、東京労働局、そして本日参加の経営者団体の皆様にも、日頃より連合東京の取組にご理解いただいていることを深く感謝を申し上げます。

東京都がご説明いただいた中身については、私どもも周知をさせていただくことをぜひこの場でも表明をさせていただきたい。その上で、東京の状況について少しお話をさせていただきたいと思います。

連合東京に寄せられます東京都内の労働相談でございますけれども、昨年11月は211件、前年同月の約2倍、12月も228件と前年の同月比で1.6倍に増えております。いずれの月も、雇用・退職関連、有期雇用者の雇い止めが多くなっております。東京都として、これまで以上に雇用対策にご尽力をいただければというふうに思います。

そして、東京で働く者の代表として、ご提起をいただきました中身についてお話をさせていただきたいと思います。

1つは、BCPの点検・策定等にありますエッセンシャルワーカーの確保に向けたサポートに関してでございます。人材確保が必要なのは、食品スーパーのほか、介護、輸送などのほかの業務もあるかというふうに思っています。休業、営業時短を繰り返している飲食業も人手不足というふうに伺っています。このサポート事業については、派遣先におけるエッセンシャルワーカーの一時的な代替要員の確保のための派遣の助成ということの趣旨は、理解をさせていただきます。なお、都税で実施をするということでございますので、事業の実績と費用について、改めて都民の皆様にもご報告をいただければというふうに思います。その上で、コロナ禍で離職した人の雇用及び所得の安定が図られ、また職業能力の向上に資する職業訓練が行われますような取組についても、併せてお願いをしたいというふうに思います。

もう1点は、テレワークの一層の強化に対してでございます。新しい働き方として定着した企業がある一方で、中小企業ではなかなか実施ができていない実態もございます。まず、テレワークの労働条件、就業規則や労働協約を整備する必要があるという状況かもしれません。また、ライフ・ワーク・バランスが取れている企業がある一方で、中小企業だけではございませんけれども、実労働時間の管理に課題を残している企業もあるというふうに伺っております。職場のコミュニケーション不足を感じる人が多く、テレワークをしていない人が業務負荷を感じている実態もあるというふうに私たちの組合員の職場からも声がございます。企業には、テレワークの推進に当たり、テレワークのルール策定、労働条件の整備、労働時間管理や環境整備、職場コミュニケーションの充実を進めていただきたいというふうに思います。また、東京都には、それらの推進に対するご提案をお願いすることを私のほうからお話をさせていただきまして、連合東京からのご提案とさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

**【村西部長】** ありがとうございます。

続きまして、東京労働局、辻田局長、よろしくお願ひいたします。

**【辻田局長】** 東京労働局の辻田でございます。平素より東京労働局の業務運営につきましてご理解とご協力を賜っておりますことに、改めて厚く御礼を申し上げます。

冒頭、知事からお話がございましたように、オミクロン株の急速な感染拡大が認められる中で、新型コロナウイルス感染症拡大防止と、それから企業活動の両立を図ることは、喫緊の課題であるというふうに考えております。

働き方改革につきましては、テレワークなど柔軟な働き方を推進し、創造力や生産性を高めつつ、労働時間の縮減、年休の取得促進など、仕事と生活の両立を進めるものでありますが、一方で、感染拡大防止と社会経済活動の両立にも有効な取組であるというふうに考えております。

中でも、テレワークは、コロナ禍において普及が進んだ働き方でございますけれども、反面、新しい勤務形態がゆえに雇用管理の面での課題もございまして。東京労働局では、テレワークガイドラインに沿った良質なテレワークの普及に努めますとともに、助成金の支給により、中小企業における導入促進に努めてまいります。

また、働き方改革全般につきまして、専門家による助言・指導、好事例の紹介を行っているほか、ワンストップ相談窓口を設置して、セミナー開催や個別訪問支援など、きめ細かな支援に努めてまいります。

東京労働局におきましては、こういった取組について、東京都や労使関係の皆様方と引き続き一致協力して進めることが重要であるというふうに考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

【村西部長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまご紹介いただいた取組内容につきまして、この機会にご発言はありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、最後に知事からまとめのご発言をいただき、その後、緊急共同宣言の署名に移りたいと存じます。知事、よろしく願いいたします。

【小池知事】 公労使会議、それぞれの現場から様々なご要望やご指摘をいただきました。もう丸2年闘ってきたわけですが、今回、かなり様相が違ふと。そして、ポイントは、どのようにして感染を止めて、そして社会経済を止めないかという、この2つを一度に行う、私は大谷選手の二刀流と呼んでいるんですけども、なかなか厳しいところもございしますが、こうやって今日は6者の方々にお越しいただいております。ありがとうございます。

そこでいろいろお話もいただいたわけでございますけれども、BCP、テレワーク、働き方改革、それぞれの取組を何うと同時に、また知恵を共に共有していきたいというふうに感じたところでございます。現場の実情を踏まえた貴重なご提言、ご要望、誠にありがとうございます。

これまでも緊密に連携してまいりました公労使会議でございますが、様々な課題に対応してきました。今回はこのコロナウイルスという大きな試練に対しても、この公労使が一致協力することが乗り切る最大の秘訣だというふうに感じております。今日にご参加いただき、またいろいろと発信をいただいたこと、誠にありがとうございます。

そして、この後、皆様方と共同宣言ということにさせていただきたいと思っております。本当にここは厳しいですけど、共に頑張っけて乗り切っていきましょう。よろしく願いいたします。

【村西部長】 ありがとうございます。

それでは、緊急共同宣言の署名に移りたいと存じます。

緊急共同宣言につきましては、草案を事前にご相談させていただいております。

それでは、皆様、ご署名をお願いいたします。

[緊急共同宣言書に署名]

【村西部長】 ご署名いただけましたでしょうか。

それでは、写真撮影を行う準備をいたしますので、恐縮ですが、少々お待ちください。

準備が整いました。皆様、宣言書をカメラに向けて掲げていただけますでしょうか。各団体の皆様、宣言書をカメラに向けてお願いいたします。——ありがとうございます。

以上をもちまして本日の公労使会議を終了いたします。皆様、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

午後5時閉会